

ヘルスケアサービスの規格統合に向けて ～サービスas well as グッズ～

慶應義塾大学 政策・メディア研究科 博士課程
博士課程教育リーディングプログラム オールラウンド型1期生

山本 優理

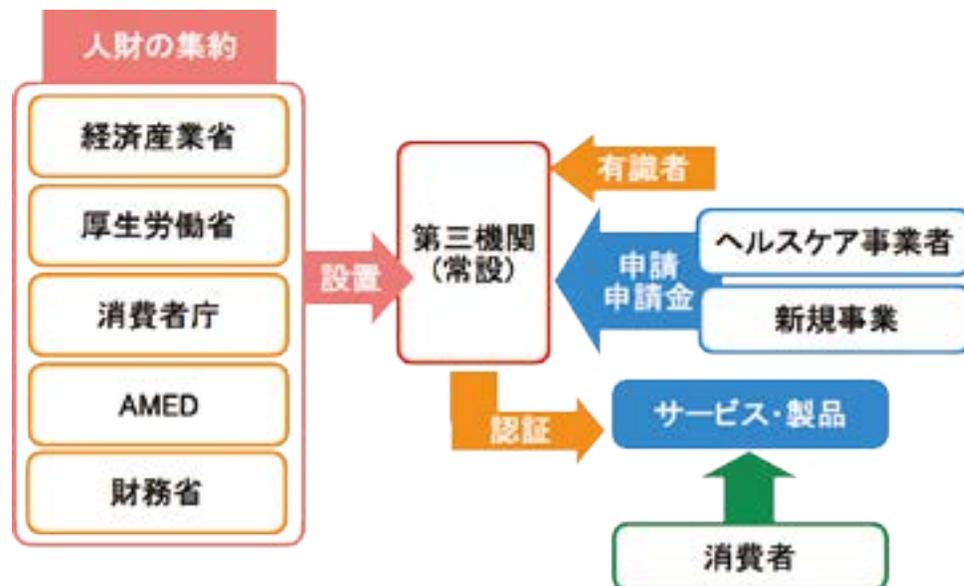
概要

- ▶ヘルスケア事業を成熟させることによる健康寿命の延長
- ▶予防医療の普及
- ▶これからの超高齢社会を日本がリードしていけるような、日本発のヘルスケアの分野の世界標準規格の作成

実現すべきビジョン

- ▶サービス提供者
 - ・指すべきサービスの質の明確化
- ▶サービス消費者
 - ・知識やリテラシーがなくても遺伝子検査サービスをはじめとしたヘルスケアサービスの質を評価できる指標の作成
- ▶国
 - ・ヘルスケアサービスの把握
 - ・規格を明確にすることによる、新規サービス、正規サービスをサポート、質の管理

提言の具体的内容



▶具体的な提言項目

- 提言1 サービス間で規格統合、日本発のヘルスケアに関わる国際規格の作成
- 提言2 規格を認定するための第三機関を設置

提言先 経済産業省、厚生労働省他